令和７年度第２回太宰府市幼保小連携部会　会議録（要約）

日　　時：令和 7 年 12 月 24 日（水）午後 4 時 12 分～午後 4 時 33 分
場　　所：市役所 2 階入札室
出席委員：出席 4 名、欠席 0 名
市出席者：学校教育課長、保育児童課長、子育て支援課長、保育所係長、
　　児童福祉係長、児童福祉係員
傍聴者　：なし

議題１　太宰府市幼保小接続研究指定事業計画案について

〇事務局
　前回5月13日に今年度第1回の会議を開催させていただき、その中で先進地の取り組み、令和の日本教育、いろいろ学んだ中で、次回は太宰府市がどういったことができるのかというところの案をお示しした中で協議ができればというお話をさせていただいておりました。今回、太宰府市幼保小研究指定事業ということで取り組めるのではということで計画案の方をお示しさせていただいておりますので、中身について簡単に説明をさせていただきます。

〇学校教育課長
　【事業の説明】

〇保育児童課長
　年間のスケジュールを簡単に書いておりますが、来年度いっぱいかけて太宰府市型を検討していければと考えております。
　小学校と幼保の現場、お互いのところを知らないっていうことが一つ大きな課題であるため、お互いの意思疎通といったところから取り組みをまずやってみるというようなところで考えているところです。

〇学校教育課長
　学校としては、研究指定というのは教育委員会としては仕組みが十分あります。それに協力していただける保育園、幼稚園のご協力についてご相談させていただきたいなと思っています。

○Ａ委員
　幼稚園は夏季休業があるんじゃないですか。

○Ｂ委員
　あります。どうしようと思っていました。

○Ａ委員
　そうすると 8 月上旬の公開が厳しいのではないかと思うのが 1 点です。それと保育園と幼稚園の授業参観に中学校も入ってるんですけれども、いきなり難しくないかなと思うのが 1 つです。最初の一歩として小学校と幼稚園、保育園の連携が先なのではないかと思っておりますがいかがでしょうか。

○学校教育課長
　幼稚園は課題になっていて、指定校として見に行けるのは、幼稚園はどのタイミングなのか。というのが我々もわからないということと、小学校の授業と合わないとかが課題だなと思っているので、タイミングのご相談をしていかなきゃいけないなと思っているんですけど、逆に受けていただける指定校に対してもそういう情報提供ができたらと思ってます。
　夏休み前とかに小学校に行く時間が取れるものですか。

○部会長
　例えば、学校に生活科の時間を見に行ったときに、そのまま続けて話し合いに入るっていうのが、必ずしもできないときというところもあるのかなというふうに思います。また、保育園、幼稚園に来られるときも活動時間のメインというのが 10 時だったりというところになりますので、そこから続けて学校の先生が見られることが、できないときもあるんですが、他地区でやられてる事例としては、最初に午前中に見て、午後から話し合いで 1 回、学校とか園とかに戻られて、そこから話し合いっていうこともできますので、少しそこも念頭にすると可能性が広がるかなというふうには思いました。

○学校教育課長
　実際、今この計画でいうと連携会議という内容で作ってるものが、5 月ぐらいにというところで、年間スケジュールで、「ここなら可能だ。」「こういうやり方なら」という話ができたらいいかなと思っておりますので。

○部会長
　見たその日に意見交換するっていうことはできればと思います。それが連続した時間でなくてもいいくらいのところです。やはり忘れてしまうので。

○学校教育課長
　研究指定するときにそういうことを指定校に伝えながらできたらというところと、具体的な調整とかを積極的にしたいと思います。まずはそこに参加いただけるようにどういうふうにしていくかっていうのが課題だと思います。

○保育児童課長
　モデル的に進めることになりますので、協力いただけるところを保育園、幼稚園さん募っていきたいなとは思っております。
　8月幼稚園側としては厳しいというところですけども…

○Ｂ委員
　幅を持たせていただいたらOKなところは増えると思うんですけど。それぞれの幼稚園さんのタイミングに幅を持たせていただいたらいけると思います。

○部会長
　来年度、そのモデル事業などに全幼稚園が参加ということではなくてということだと思いますので、時期は学校と幼稚園、保育園の日程調整が必要になるかと思いますけど、まずはどこか1園ずつぐらい。
　登場人物が多くなると調整も大変ですし、来年度はパイロットぐらいに考えた方がモデルとなると、何か素晴らしい教育、保育をしてないといけないという印象ですけど、そうじゃなくてというところかなとは思ってます。

○保育児童課長
　時期を見れば協力は可能というところですね。

○Ｂ委員
　はい。そうですね。

○保育児童課長
　そこは実際進めながら、早い段階にはなるんでしょうけど具体的なご相談はさせていただくようになります。

○部会長
　園によってスケジュールはバラバラですか。6月なり7月なりっていう。

○Ｂ委員
　そうですね。バラバラでしょうね。

○部会長
　幼稚園は何月ぐらいがいいというところをまず出していただいて、具体的に手を挙げていただくところがどこかっていうところを何かお話はできますかね。

○Ｂ委員：できます。

○部会長
　保育園も大体は6、7月ぐらいがいいですけどっていうことでご提案を上げていただく園さんていうのをちょっと 1 園選んでいくっていうような形でいかがでしょう。モデル地区は国分地区がいいですか。

○学校教育課長：
　今回は他の団体の事例であると、例えば国分小校区という括りすると、太宰府の保育園が市内全域の小学校に行っていて、一対一ではないので、あまり地域はこだわらなくていいかなっていうふうには思っています。どこかの幼稚園、保育園から必ず大体 1 人 2 人は行っている感じがするので、それぞれの連携というところでは、大丈夫かなというふうには思っているところです。

○Ａ委員：
　なんか小学校側からすると 6 月 7 月になると、全職員を出すというのが非常に難しく、そして午前中というふうにおっしゃってるので例えば保育園に行く人、幼稚園に行く人ってわかれる可能性がありますけど、それも半分出ると自習体制とかが取れないので、ちょっと最初の一歩で代表っていう形で。

○部会長：
　それは保育園とか幼稚園とかを見に来られる場合は、どっちかだけで最初は進めてもいいのかなとは思いました。

○Ａ委員：
　ただどっちかだけでも半分抜けると。

○部会長：
　この保幼小連携に当たる登場人物が誰かっていうところに関わってくると思いますけど

も 1 年生の担任の先生は必ずですが、全員じゃなくても 1 クラスっていうことでもいいのかなという風には考えたりはしています。

〇Ａ委員：
　そうしていただけると学校側としても出しやすいし、連携がしやすいので、1～2 ぐらいは出して私達管理職と、担当の特別支援コーディネーターとかも多分興味津々だと思うので。そういったところの関係職員の代表として、参観に行かせていただければと思っております。

〇部会長：
　必ず関係する人全員が参加っていうことではなくて、あくまでも来年度はここの人たちに受けさせたいなとか経験して欲しいなっていうところを学校の方からご選定いただくような形でいいかなと思います。

〇保育児童課長：
　事前に部会長さんとちょっとお話する中で人数も、今ちょうどそういう話になりましたけど同じぐらいの方がより意見も出しやすいかと思います。

〇部会長：
　人数が保幼で倍になると、小学校の人数が少ないので話し合いも何か保幼を中心に進んでいくっていうところがあるので、人数というのはあんまり偏りがないようにした方がいいのかなと思ってます。

〇学校教育課長：
　そこもメンバーであり、時間でありっていうのは調整しながらで良いかと思います。

〇保育児童課長：
　他何かご意見等ありましたら
　今、このお配りした資料では確かに中学校入っておりますけど、まず幼保小のところになりますので、中学校は今回外すというところでよろしいですか。

〇一同：
　はい。

〇保育児童課長：
　結構手探りの所のところはありますけど、まずやることによって、いろいろまた見えてく

る、意義も見出していければいいなというところで思っておりますので、またいろんな情報共有とかもこの場とかを使ってさせていただきながら、順次進んでいけたらいいなというふうに思います。よろしくお願いいたします。